

報告・お知らせ

<電話 080-4702-1960>

- **定例総会**:6月7日(水)に開催され、決算、事業計画、予算等が審議、承認されました。
- **配布のお知らせ**:「ハートページ」(介護サービス事業者ガイドブック2023年・大阪市西ブロック版)に残部がありますので、ご希望の場合は上記までご連絡下さい。
- **此花区医師会誌**:第73号が発行されました。各種事業の活動報告等が掲載されています。
- ☆ **日本医師会の活動**:①「警察庁サイバー局との連携に関する覚書」を締結しました。これは、医療機関を標的としたサイバー攻撃が増大している現状に鑑み、その被害の防止を図るために緊密な連携を目指すものです。サイバーセキュリティ相談窓口は、0120-179-066(9:00~21:00)です。②「医療・介護における物価高騰・賃金上昇への対応を求める合同声明」を発表しました。これは、三師会はじめ12団体が、政府に来年度のトリプル改定に向けて、必要財源の確保を求めたものです。③LINEスタンプを販売しています。スタンプは、「日医君」(公式キャラクター)と「吉郎君」(松本会長をモチーフ)の計40種類です。詳細は、<<https://line.me/S/sticker/23120128>>を見て下さい。
- ☆ **「大阪市麻しん情報」**:6月15日から「大阪市感染症週報」と一緒に発信されています。現在、麻しん患者数は、大阪市内で2名(いずれも20代女性)、全国で19名となっています。
- ♡ **「大阪法務局の移転」**:大阪法務局の本局が、大阪府中央区大手前3-1-41の大手前合同庁舎3~5階(谷町4丁目駅下車・1-B出口)に移転しています。法人登記部門は4階です。
- ♡ **「バリアフリー展2024」**:来年4月17日(水)~19日(金)、インテックス大阪で開催予定です。
- ♡ **「まちなかの保健室」**:年度スケジュールが発表されました。6月15日、7月20日、9月21日、10月19日、11月16日、12月21日、来年2月15日、3月21日(いずれも木曜日)、10:00~11:30、於・UR伝法住宅集会所1階(此花区伝法6-3-3)になります。6月15日(木)は5名の参加でした。

会内活動 ~色々な会議・研修会等に参加しました。~

- ◆ **「大阪市在宅医療・介護連携支援コーディネーター連絡会兼区担当者等説明会」**:5月29日(月)開催(於・中央区役所) 各区の取り組みの事例報告とグループワーク等がありました。
- ◆ **「此花区訪問看護ステーション連絡会」**:6月15日(木)開催(於・此花区南西部地域包括支援センター) 緩和医療、多職種連携はじめ色々な情報提供、意見交換等がありました。
- ◆ **「此花区認知症ネットワーク会議実行委員会」**:6月14日(水)開催(於・HABAクリニック) 認知症ケアパスの作成、認知症声かけ訓練の開催に関する検討等がありました。
- ◆ **「此花区認知症初期集中支援推進事業関係者会議兼此花区認知症ネットワーク会議」**:6月29日(木)開催(此花区南西部地域包括支援センター) オレンジチームの活動報告等がありました。
- **「ひとみらい研究会」**:2月22日(水)・3月31日(金)・4月26日(水)・5月31日(水)・6月30日(金) 開催(於・大阪市北区民センター) 成年後見、相続、遺言書に関する意見交換等がありました。
- **「兵庫医科大学サタデイモーニングセミナー」**:5月29日(月) VOD視聴 慢性腎臓病における地域医療連携、食事療法等に関する講演がありました。
- **「都道府県医師会新型コロナウイルス感染症担当理事連絡協議会」**:6月1日(木) VOD視聴 日本医師会、厚生労働省担当者から、類型変更に伴う制度の変更等についての説明がありました。
- **「大阪公立大学医学部附属病院市民医学講座」**:①6月2日(金)・②6月6日(火) VOD視聴
①重症コロナ肺炎治療の実際、②COPDの概要と治療等についての講演がありました。

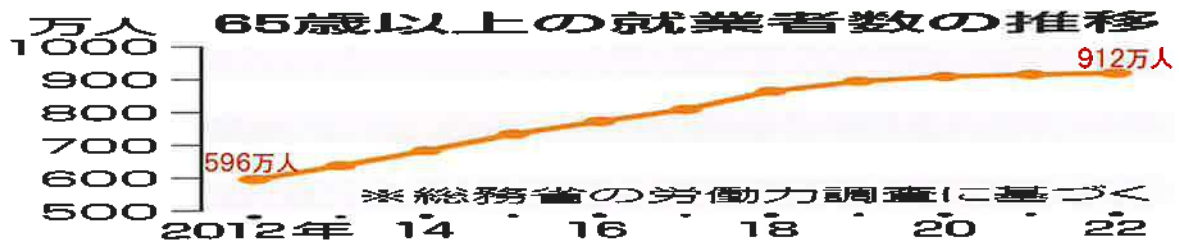
◎「此花区在宅医療・介護連携相談支援室相談」: 医院開設、成年後見に関する相談がありました。

トピックス

☆厚生労働省「老老介護」調査: 在宅で高齢者が高齢者をケアする「老老介護」に関し、市町村の約77%が「介護する家族自身も認知症等で支援が必要」と感じていることがわかりました。「老老介護」は増加傾向で、早期発見が喫緊の課題となっています。これも「おふたりさま」問題の一端です。

☆厚生労働省「介護分野の最近の動向」: 厚生労働省は5月24日に色々なデータを発表しました。要介護認定率は、65歳以上で18.9%、75歳以上で31.5%、85歳以上で57.7%となっています。また、認知症の人の将来人口は、2025年では675~730万人と推計しています。

☆働く高齢者の増加: 総務省の労働力調査で、高齢就労者が、昨年912万人(平均)とわかりました。10年前の約1.5倍(596万人)です。平均・健康寿命が延びたことが背景の一つにあります。



☆生活保護の実態: 令和2年の生活保護受給者(1か月平均)は約205万人、保護率は16.6%で、うち高齢者世帯は55.5%です。年金だけでは生活が出来ないという実態がうかがわれます。

☆放課後等デイサービス事業・児童発達支援事業: 児童福祉法の規定により、前者では、小中高生に対して、放課後や夏休み等に、生活能力向上のための訓練を行い、放課後等の居場所作りを推進します。後者では、発達に課題のある就学前児童に対して、日常生活における基本的な動作の指導、知識技能の付与、集団生活への適応訓練等を行います。

☆国境なき医師団: NPO法人国境なき医師団日本(0120-411-433)では、紛争等のけがや病気で苦しむ世界の人たちを救うために寄付(税制上、寄付金控除)を受け付けています。

☆京都市高齢者「猫と生活」支援事業: 「齢をとっても安心してペットと一緒に暮らしたい」という高齢者の願いを叶え、よりよい生活を送って貰おうとする実験事業が京都市で始まりました。飼い主(高齢者)宅へペットヘルパーを派遣し、トイレ掃除、爪切り、フード買い出し等の代行をします。併せて、飼い主(高齢者)の見守りもします。問合せは、「ねこから目線。京都」(070-2291-0780)です。

案内

消費者ホットライン **188** いすゞ いやや!

日本全国のお近くの消費生活相談窓口をご案内します。

- 此花警察署: 06-6466-1234 <サイバー事案発生時等>
- 大阪市新型コロナ: 一般相談センター0120-911-585(24時間)
- 児童虐待ホットライン: 0120-01-7285(24時間365日対応)
- 大阪府暴力追放推進センター: 中央相談室06-6946-8930(平日9:30~17:00)
- 大阪どうぶつ夜間急病センター: 06-4259-1212(21:00~翌5:00)

<あとがき> 本人の行為ではなく、代役した2人を見ていて…。

ある人気の歌舞伎役者(本人)が突如休演し、代わりに親戚筋の若手や共演の二枚目がその代役を見事に務め、拍手喝采を浴びました。この2人を見ていて、人というのは、レギュラーの時ではなく、イレギュラーの時に、その真価が問われるのではないのでしょうか。真実はそこにあるのです。日頃の行い、心構えが影響してきます。ですから、レギュラーの時の姿を、全て鵜呑みにしてはいけません。